

若原研究室と NTT ソフトウェアイノベーションセンタの共同研究 I-Discover SPARQL API を用いた 共起語グラフの構築と可視化による論文 検索支援システムが「最優秀賞」を受賞！



若原研究室
博士後期課程 2 年 榎 俊孝さん

情報通信工学科若原 俊彦教授

3 月 24 日(金)、名城大学において開催された電子情報通信学会総合大会の企画セッション「I-Discover で論文・技報を活用しよう、世に出そう！」のコンテストにおいて、本学の若原研究室と NTT ソフトウェアイノベーションセンタがこの半年間をかけて、共同研究した論文検索支援システムが、第一次審査を通過した 10 作品のうち最も優れた作品に贈られる「最優秀賞」を受賞いたしました。

受賞者は若原研究室博士後期課程 2 年の榎 俊孝さん、情報通信工学科教授の若原 俊彦教授（福工大）そして NTT ソフトウェアイノベーションセンタの新井 淳也さん、岸本 康成さん、飯田 恭弘さん、岩村 相哲さん（NTT）のメンバーです。この作品のテーマは「I-Discover SPARQL API を用いた共起語グラフの構築と可視化による論文検索支援システム」。

I-Discover SPARQL API を用いて検索キーワードに対応する共起語群を共起頻度に基づいて抽出し、また共起関係の深さ方向に GUI 上で辿れるようにして、その結果をグラフマイニング（逐次的にグラフに可視化する検証実験）により関連・類似するキーワードの検索を GUI 上でストレスなく行え、論文検索を効率的に行えることを確認したものです。

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-331
3 月 29 日～4 月 13 日